

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2017年度 共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2018年 4月 28日 提出

1. 研究課題名	
絵入狂言本の総合カタログに関する総合的研究 (英文標記: _____ )	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)いわい まさみ	所属機関・職名
岩井 眞實	名城大学外国語学部・教授
3. 研究分担者 (合計: _____ 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
鳥越文蔵(とりごえぶんぞう)	早稲田大学名誉教授
佐藤恵里(さとうえり)	高知女子大学名誉教授
東晴美(ひがしはるみ)	群馬女子大学講師 日本女子大学学術研究員
赤間 亮(あかまりょう)	立命館大学教授

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>京都が発祥の地である歌舞伎の、その歴史を辿ると、元禄歌舞伎という世界全体に比べても、最も洗練された演劇が京都を中心として展開していたことに気づかされる。この時期、江戸や大坂でも歌舞伎は魅力的な芸能として人気を得て、江戸文化の中心に躍り出る。その歴史を最も詳細にものがたる資料が絵入狂言本である。現在、約 450 点の作品の存在が報告されているが、この絵入狂言本を総合的に網羅的に研究する状況は未だ生み出されていない。本研究では、これらをアート・リサーチセンターのデータベースシステムを活用しながらデジタル・アーカイブ型研究として推し進め、停滞している元禄歌舞伎研究に再びスポットライトを当てることを目指す。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
<p>「絵入狂言本データベース」を本格的に立ち上げ、公開を開始した。  <a href="http://www.dh-jac.net/db1/books/search_kyogenbon.php">http://www.dh-jac.net/db1/books/search_kyogenbon.php</a>          現在、一般公開数は、95 点。非公開分を含めると、416 件を掲載している。絵入狂言本の現存数は、現在 430 件程度と考えられるので、ほぼ、97%の作品を吸収できたことになる。          画像については、所蔵機関が公開を許可しない資料については、所蔵機関の条件に従うが、公開範囲限定(ログインパスワードの配布研究者)で共有化できるようにしている。          カタログの書誌情報については、一般公開する予定であり、2018 年度中にすべての作品を掲載したデータベース</p>

となる予定である。

なお、ARC 赤間研究室が運営するに「デジタル歌舞伎博物館」の「歌舞伎絵資料閲覧」に掲載した。